



延喜式内林神社秋季例大祭

頼成の若い衆が勢揃い

伊加流伎野に祭り囃子響く

明け方は少し雨が



上村



下村

がぱらつくあいにくの日でした。それでも日中は持ち直した十一月三日、恒例の延喜式内林神社秋季例大祭が執り行われました。

林芳光様が新宮司に就任されてから初めて例祭というところで、正装の衣冠を身にまといて斎主をお勤めになったので、例年にもまして厳かな雰囲気にも包まれた祭礼となりました。若者の減少で先行きの不安もあるなか

季節のうた
ロングコート試着しモデル歩きをす

林 香月子



下村



上村

ながら、帰省中の青年等も加わって、今年も祭り囃子が夜遅くまで響きわたりました。

昨年まで来ていた露店も今年はずいぶん姿を見せず、獅子の後を追う子供達の姿もめっきり少なくなっていました。それにしても、鳥居の下に並ぶ夜店。その店先のカーバイトの匂いのするアセチレン灯のほのかな灯り。大勢の子供が頬寄せ合って、おもちゃの品定め。そんな遠い幼い頃の光景が懐かしく思い出されてなりません。

頼成光寿会

女子チームが優勝

第七回庄東地区対抗

室内ペタンク大会

標記の大会が十一月九日、B & G体育館に於いて開催されました。

当会会員で編成された

頼成光寿会女子チーム

(島照子・高島夏子・坂東

泰子)が見事に優勝の栄

冠を獲得しました。ま

た、男子チーム林義夫・

開田道雄・八田茂興も三位

に入賞しました。



悪候のため室内で

恒例の般若地域巡りが公民館祭りの開催された十一月十日の午前中に行われ、地区民約五〇人が参加しましたが、当日はあいにくの悪天候で外歩きを取りやめ、室内でお話を聞きました。

見学予定の土地改良記念碑・逆さ杉・五社神社・フアームポンド・徳万不動尊などについて、江田春夫さん、三門明外二さん、根田信一さん、齊藤源秋さんからそれぞれお話を聞きました。

備えあれば

憂い無し

地区民あげての

防災訓練実施

世界各地で災害が続発するなか、万一に備えての防災避難訓練が、十七日、地区民総参加で実施されました。避難指示が出た後、近隣に声を掛け合って近くの一時避難所に集まり、揃っていかるぎ館に避難するというもので、当日は天候にも恵まれ、地区民多数が参加、消火体験等も行ってあらためて防災意識を高めました。



らんじよ浮世亭だより

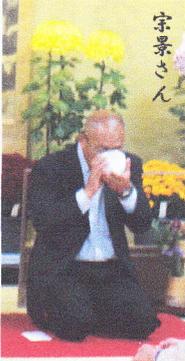
今回は、光寿会との共催で十一月恒例の観菊茶会を催しました。前日から菊の搬入や茶席の準備などをして、当日を迎えましたが、後にも先にもない好天に恵まれ、村岡市議、宗景振興会長はじ

め多くの方々が来亭されました。

菊花は林孝雄さん、林孝行さん、北條蘇春さん、林喜興志さん、武部琉子さん、林邦子さんに展示していただきました。

また、茶席は林すみ子さんほか多くの方々に協力いただきました。自分で茶を点てる体験コーナーもあり、菊と茶の香りに浸りながらの一時を堪能しました。

昼には光寿会女性役員の方々が用意された心づくしのおにぎりをいただきました。心豊かな一日を過ごしました。ご来亭くださった皆様、お世話いただいた皆様ありがとうございます。



秋の一泊旅行 11月13・14日 松井秀喜記念館前で



三十一人が参加、好天に恵まれ松井秀喜記念館 森光子記念館・菓子城こおろぎ橋、近江市場などをまわり、山代温泉宝生亭で宿泊憩生会。楽しい二日間でした。



会員の慶事

富山県知事感謝状
永年勤続児童生委員
小森 兼重 様
永年にわたり児童委員・民生委員として、地域社会の福祉に貢献されました。



浮世亭次回ご案内

12月18日(第三水曜日)です

新聞紙でエコバッグ作り&席亭の話「この人あればこそーわが母、祖母そして師ー」。

開亭9時。浮世亭でも用意しておきますが、新聞紙三枚と糊 持参くださればありがたいです。

なお、今回から午後の写経は今までより三十分繰り上げて 13:00 開始と致しますのでご了承ください。

ら 頼成光寿会 五十周年記念式典・忘年会

十二月七日(土) 午前十一時

参加費千五百円 於いかるぎ館

記念式典・賀寿お祝い・懇親会 誘い合わせぜひご参加ください。

- 喜寿祝 招待者御芳名
池田 富子 様 坂東 開田 道雄 様 西川原
林 孝雄 様 堀尾 外志子 様 北明
武部 由美子 様 川原 林 逸子 様 善導
白寿祝 招待者御芳名
林 あや子 様 公文名

いかるぎ

昭和十七年「改造」に掲載された細川嘉六(下新川郡朝日町出身)の論文が、共産主義的で政府のアジア政策を批判するものとして問題となり、著者の細川が新聞紙法違反で逮捕されました(前事件)。翌年、細川の郷里・富山県泊町の料亭

「紋左」で開かれた出版記念会での集合写真が見つかり、そこに写っていたというだけで約六十人の関係者が次々に治安維持法違反容疑で特高(特別高等警察)に検挙され、革の鞭や竹刀などで失神するまで殴るなどの激しい拷問を受け四人が獄死するという悲惨な事件がありました。その時適用された治安維持法と、いま国会で審議されている特定秘密保護法を重ね合わせて、自由な言論が封殺された暗い時代に逆行するのではないかと不安に思う人も少なくありません。國のためを守るべき秘密のあることは分かりますが、この重要な法案の担当が畑違いの少子化担当大臣で、その頼りない国会答弁を聞いていると本当に不安になります。

慎重審議を望む国民世論に背を向けて、十一月二十六日、この法案は自民・公明にみんなの党が賛成し衆議院で強行採決されました。